

報道関係各位

(報道発表資料)

令和2年11月4日

北九州市保健福祉局感染症医療政策課

(担当：河崎、木原)

電話：(093)582-2430

## つつが虫病の発生について

市内において、つつが虫病（4類感染症）の発生届がありましたので、北九州市感染症公表要領に基づきお知らせいたします。

- 概要** 令和2年11月2日（月）、市内C医療機関（門司区）からつつが虫病の届出があった。
- 患者情報** 門司区在住、69歳、男性（ムシに刺された痕を確認）
- 経過**
  - 10月10日（土）左足に刺口確認。発疹、足の腫れあり。
  - 10月13日（火）全身に出血斑、足の腫れがひどくなり、市内A医療機関受診。
  - 10月16日（金）発熱（37.8℃）あり。
  - 10月21日（水）市内B医療機関受診。
  - 10月23日（金）足の腫れがひどくなり、歩行困難のため市内C医療機関受診し、入院。
  - 10月26日（月）症状軽快。
  - 11月2日（月）10/23の血液検査の結果、つつが虫病と診断。
- 現在の状況** 入院中（状態は安定している）
- 感染原因** 不明
- 行政対応** 患者及び家族に対する健康調査の実施

### 7 つつが虫病の北九州市への届出状況（単位：人）

（令和2年11月2日現在）

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
発生届出数 (単位：人)	0	0	0	1	0	1

※本件を含む。

#### 【その他】

- 患者及び家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内にさせていただきます。ご理解の上、特段のご配慮をお願いいたします。
- 本市においては、別添「《つつが虫病について》の予防のポイント」について市民の皆様と呼びかけています。  
報道各位におかれても、別添「《つつが虫病について》の予防のポイント」の内容の周知にご協力いただきますようお願いいたします。

【つつが虫病について】 別添参照

## 《つつが虫病について》

### ➤ つつが虫病とは

つつが虫病はつつが虫病リケッチア (*Orientia tsutsugamushi*) を保有するツツガムシに刺されて感染する病気で、北海道を除く全国で発生がみられます。

発生時期は春～初夏及び晩秋～冬ですが、媒介ツツガムシの生息地域によって異なります。

### ➤ 症状

5～14日間の潜伏期間を経て、典型的な症例では39℃以上の高熱を伴って発症し、皮膚には特徴的な刺し口（ツツガムシに刺された場所にできるかさぶた）がみられます。その後数日で体幹部を中心に発疹がみられるようになります。全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などを伴って発症します。有効な抗菌薬による治療が適切に行われると劇的に改善します。軽い場合は風邪程度の症状ですが、高齢者などでは呼吸困難、意識障害など重症化し、死亡することがあります。

### ➤ 感染経路

つつが虫病リケッチア (*Orientia tsutsugamushi*) を保有するツツガムシに刺されることによって感染します。

### ➤ 予防のポイント

ツツガムシが衣類や身体についているかもしれないため、ツツガムシに刺される前に取り除くことが重要です。

- ・山林、草地、川原などに入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくしましょう。
- ・屋外活動後は、速やかに入浴し、念入りに身体を洗い流しましょう。

### 【市民の皆さまへ】

山林、畑や河川敷に行った後に、頭痛やだるさが強く、高熱が続いたり、発疹が出た場合には、つつが虫病の可能性があるので、早めに医療機関を受診してください。